

## マーケットリサーチ

### 【目次】

1. 2020年度のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・	P2
2. S財団との連携に向けた取組経緯・・・・・・・・	P3
3. S財団の助成について・・・・・・・・	P4
4. 太郎右衛門自然再生地で想定される取組案・・・・・・・・	P5
5. 連携に向けた今後のスケジュール・・・・・・・・	P6
6. 2020年度助成金での主な購入物品（案）・・・・・・・・	P7
7. 乗用草刈機の保管場所の比較表・・・・・・・・	P8
8. 調印式・除幕式及び保全管理活動（案）・・・・・・・・	P11
9. 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 保有物品リスト・・・・・・・・	P12

### 【ご注意】

本資料は、外部組織との協議中の内容は非表示としています。  
ご了承下さい。

# 1. 2020年度のスケジュール

●2020年度の進捗について報告します。

## <既に協議を進めている主体>

- つばさ北小学校 : 学校での環境学習を2回実施（1回目は6月29日に実施済み）
- 東京デザイン専門学校 : 前期の企業連携講義が後期にずれ込んでいるため、内容を絞った形での協働を検討
- 桶川西高等学校 : 10月17日の秋イベントで放送部による司会及び科学部による水槽展示（予定）  
: 11月23日の川島町農業商工祭で科学部による水槽展示（中止）  
: 1月16日の散策イベントでの水槽展示（予定）
- 上尾ものづくり協同組合 : 8月催の役員会で9月以降の予定を検討
- 大和ハウス工業 : 上期に全社員を対象とした活動はない。下期は新型コロナウイルスの状況をみながら判断

## <新たにアプローチした主体>

- S財団 : 詳細は次ページ以降

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケット リサーチ				1日（月） : つばさ北小学校 : M農機 25日（火） : 上尾ものづくり 協同組合	2日（木） : 大和ハウス : 上尾ものづくり 協働組合					26日（木）～28日（土） : エコプロ2020			
協働・ 連携	学校 関係			29日（月） : つばさ北小学校 環境学習① 授業・草花の移 植作業				17日（土） 秋イベント : 桶川西高校科学部・放送 部協力（予定）	23日（月・祝） 川島町農業商工祭 : 桶川西高校科学部協力 （中止）		●1～2月 : つばさ北小学校 環境学習② たねのお返し式		
	NPO・ 民間 企業等	20日（月） : (株)サイサン 新入社員研 修（中止）	●: 大和ハウ ス工業(株) 地域共生活 動（延期）	17日（水） : OREC（乗用草 刈り機試乗） 18日（木） : S財団（理事会		●: 上尾もの づくり協同組 合役員会							

## 2. S財団との連携に向けた取組経緯

### 【経緯】

●2019年12月6日（金）のエコプロダクツ展のブースにおいて連携について打診し、その後、担当者と2回の協議、1回の現地視察を経て、S財団より荒川太郎右衛門地区自然再生協議会との協定締結の提案があった。

- 2019年12月6日（金）エコプロダクツ展のブースにて打診
- 2020年1月15日（水）事務局次長との協議（双方の取り組みについて）
- 2020年2月 4日（火）事務局次長との現地視察 ※概要は以下参照
- 2020年2月26日（水）事務局次長との協議（連携・協働の内容案について） ※概要は以下参照
- 2020年7月29日（水）事務局長との現地視察

### 【2/4 現地視察結果】

以下を理由に、「太郎右衛門地区自然再生協議会と協定を結び、自然再生地を助成対象地に位置づけることを前向きに考えたい。」と意向が寄せられた。

- ・埼玉県では県南部に支社があり、県南部という立地が良い。
- ・駐車スペースがある程度確保できる。
- ・全体構想がしっかりあるのが良い。
- ・地域の方がしっかり関わっていることが良い。
- ・ミドリシジミなど保全のシンボルがある。
- ・但し、冠水があったからとはいえ、ゴミが多いのはやはり気になる。まずはゴミの撤去は必須。

### 【2/26 協議結果】

協定を締結する場合には、S財団の理事会（6月18日）までに以下の内容について双方で調整を行う

- ・協定内容
- ・10年間における保全管理活動計画書
- ・助成の必要がある場合は、その内容と費用の一覧

協定締結後には以下を実施する。

- ・助成の申請
- ・保全管理活動イベントの開催（主に春と秋の年2回、社員や近隣住民など100人以上になる可能性有）
- ・看板の設置



2月4日現地視察の様子



7月29日現地視察の様子

# 3. S財団の助成について

- 連携・協働により、継続的かつ長期的な保全管理活動への人材及び資金的な支援を受けられることが期待されます。  
また、活動事例より、多様な主体や世代の参加が見られることから、新たな人材確保や利活用の場の提供につながる可能性が高いです。
- 埼玉県で初の試みであり、全国の自然再生協議会でも例がないことから注目度も高いです。

## 【S財団とは】

現在協議中のため非表示

## 【助成対象地とは】

現在協議中のため非表示

## 【活動事例】

現在協議中のため非表示

関係者や地域住民、NPO、行政が連携し、毎回100名以上が参加・協力



河岸の外来種駆除作業



漂着ゴミの清掃活動



親子参加による苗木の植栽

現在協議中のため非表示

取組内容を紹介する看板の設置

# 4. 太郎右衛門自然再生地で想定される取組案

## 【取組実施の方向性】

- 荒川太郎右衛門自然再生地を対象に、旧流路周辺にまとまった樹林地や草地、止水環境の保全・再生を目指し、以下の保安全管理活動に取り組むことを想定する。なお、活動内容は、その都度、自然の状況を踏まえて、自然再生協議会で検討し決定していく。
- 以下の作業から、今年度は1回実施し、来年度（令和3年度）以降は年2回の実施を想定している（計19回）。

上池	中池	下池
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来植物(樹木・草本)の除去</li> <li>・漂着ゴミの片付け 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来植物(樹木・草本)の除去</li> <li>・つる性植物の除去</li> <li>・サクラソウ移植地の除草</li> <li>・竹林の拡大抑制作業</li> <li>・漂着ゴミの片付け 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンノキの播種や植栽</li> <li>・ハンノキの周囲の下草刈り</li> <li>・外来植物(樹木・草本)の除去</li> <li>・漂着ゴミの片付け 等</li> </ul>

## 【取組のイメージ】



外来植物やつる植物の除去



漂着ゴミの片付け



ハンノキの播種や植栽



竹林の拡大抑制作業

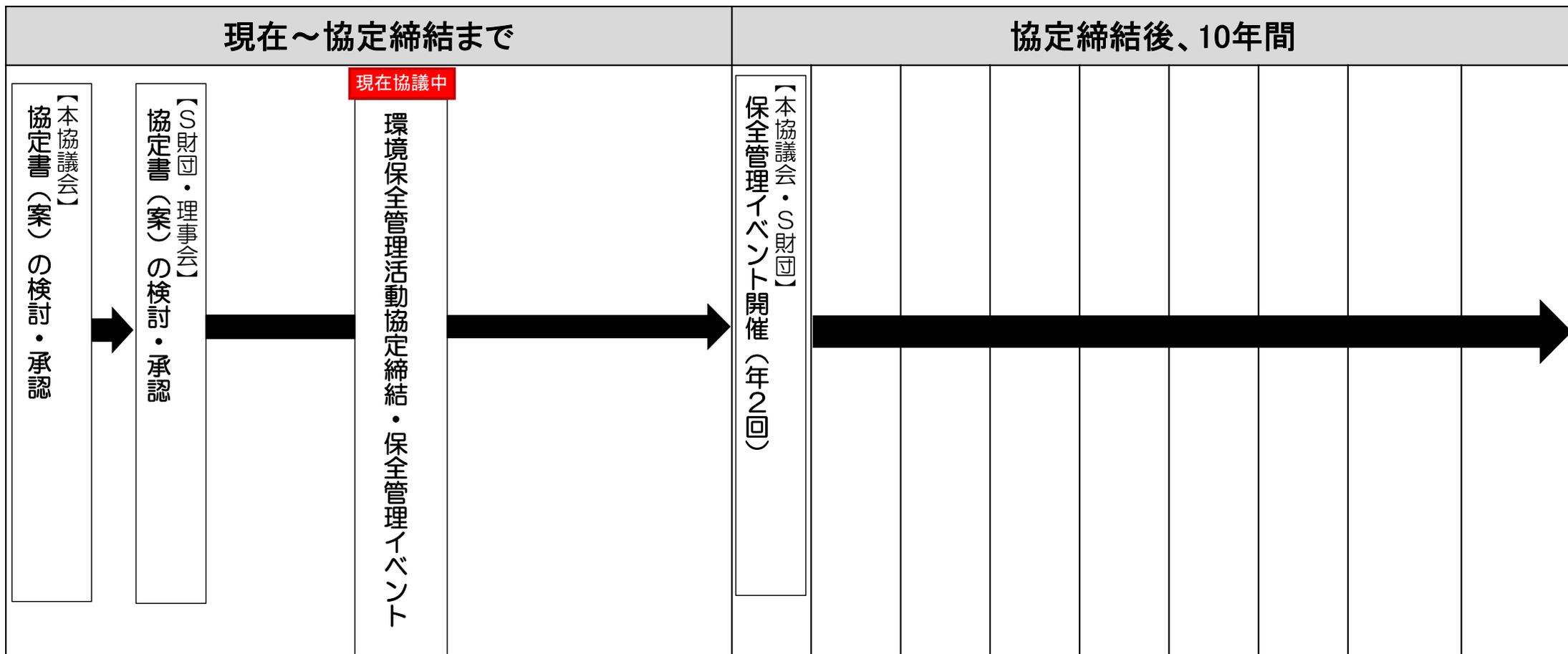


# 5. 連携に向けた今後のスケジュール

## 整備・保全管理活動に関する協定書（案）のポイント

- ◆場 所：荒川中流域において良好な湿地環境が残る太郎右衛門橋下流約4km 区間(約50.4～54.0km)内の事業地
- ◆期 間：10年間 ※締結者から延長の申し出があった場合は、協議のうえ延長可
- ◆内 容：外来種駆除、在来種の移植、竹林拡大の抑制、漂着ゴミの片づけ等、自然再生地の自然環境の保全・再生に向けた活動
- ◆締結者：S財団、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会、国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所

### 【今後のスケジュール（予定）】



## 6. 2020年度助成金での主な購入物品（案）

荒川太郎右衛門自然再生地において、S財団の助成を活用した保安全管理活動を実施するため、今後、乗用草刈機（乗用モア）の購入を検討している。乗用草刈機（乗用モア）の選定にあたっては、価格、生産状況、メンテナンス等を考慮し事業所等が埼玉県内にあること、在庫状況を踏まえて、OREC（本社:福岡県）の製品が妥当と考えられる。

企業名	価格 (税込み)	生産状況	乗用草刈機 (参考写真)	埼玉県内に本社・支社又は営業 所等の有無	備考
株式会社OREC	60～143万 円	乗用モア9種類を製造 ※乗用モアの国内 シェアNo.1	 刈幅: 975mm 馬力: 24.0ps	本社が福岡県 関東物流センターが 埼玉県久喜市	・生産数が多いので他社と同様の性能を もつ製品を比較した場合、価格がおさえ られている
株式会社クボタ	94～338万 円	乗用モア3種類を製造	 刈幅: 1219mm 馬力: 23.3ps	関東甲信クボタ本社が 埼玉県さいたま市	・商品の大半は、海外での組立・製造の ため受注生産
マメトラ農機 株式会社	95万円	乗用モア1種類を製造	 刈幅: 1350mm 馬力: 18.0ps	本社が埼玉県桶川市	・年度末に注文をうけての受注生産 ・ <u>今年度分の生産は終了</u>
株式会社 筑水キャニコム	84～154万 円	乗用モア5種類を製造	 刈幅: 975mm 馬力: 23.3ps	本社と工場が福岡県 (東京はオフィスのみ)	・公道走行可能タイプあり(要小型特殊 免許または普通免許) ・ラジコン式のハンマーナイフモアも製造
株式会社 アテックス	73～118万 円	乗用モア6種類を製造	 刈幅: 980mm 馬力: 20.8ps	本社が愛媛県 最寄りの事業所が茨城県	・ラジコン式の草刈機も製造

# 7. 乗用草刈機の保管場所の比較表

荒川太郎右衛門自然再生地において、S財団の助成を活用した保全管理活動を実施するために乗用草刈機を購入した場合の保管場所について、運搬方法、移動距離、経費等を考慮し、自然再生地近傍に小型ガレージ等を設置し、現地まで自走することが妥当と考えられる。

	川島排水機場(入間川L6.8k)		自然再生地近傍の敷地内
運搬方法	軽トラック等で現地まで運搬	堤防沿いに現地まで自走	倉庫から現地まで自走
移動距離(片道)	・約3km、約10分	・約6km、約30分 ※時速11kmで走行の場合	・約300m
メリット	・ <u>新たな保管スペースを必要としない</u>	・ <u>新たな保管スペースを必要としない</u> ・自走のため運搬用の車の手配の必要がない	・現地までの移動時間が短い ・自走のため運搬用の車の手配の必要がない ・移動のためのガソリンの消費が少ない ・ <u>現地まで距離が短いため、移動中の事故等の発生リスクが少ない</u>
デメリット	・現地までの移動時間がかかる ・毎回軽トラック等を調達する必要がある ・ <u>軽トラック等への積み込みや運搬中における事故等の発生リスクがある</u> ・軽トラック等に乗せるためのアルミブリッジの購入が必要	・公道を走行できないため、堤防天端を走行する必要があり、現地までの移動時間がかかる ・ <u>自走による移動中に堤防天端からの転落、公道横断箇所での交通事故や自転車等との接触事故等の発生リスクがある</u> ・移動のためのガソリンが別途必要	・了承を得た上で、 <u>小型ガレージ等の購入・設置が必要</u>
コスト比較 (10年間)  ※草刈り以外の経費	<b>合計 約49.5万円</b> (軽トラレンタル料+アルミブリッジ購入)  (参考) ・軽トラックのレンタル料(5~10月:年6回) 42,000円/1年×10年=420,000円 (参考)約7,000円(ガソリン代込:1日)  ・アルミブリッジの購入(2年に1回買い替え) 15,000円×5回=75,000円	<b>年間6回分 約3万円</b> (自走にかかるガソリン代)  (参考) 草刈りの連続稼働時間は約3時間(タンク12L) 125円(1L)×12L(タンク全量)=1,500円(3時間) ※ガソリン価格:埼玉県平均125円(1L) 自走の場合にかかるガソリン代(往復1時間) 1,500円(3時間)÷3時間=500円(1時間) 500円(1時間)×6回(年)=3,000円(年) 3,000円(年)×10年=30,000円 ※自走時には草刈はしないため、さらに安価になる。	<b>合計 約29万円~約43万円</b>  (参考) ・小型ガレージ1台 <b>約21万円~約29万円</b> ・その他費用(配送・設置費・転倒防止工事) <b>約4.5万円~約10万円</b> ・ガレージ納品用スロープ2台 <b>約3万~4万円</b>

## ■小型ガレージ（参考）

- 乗用草刈機1台（最低必要スペース：約幅1,200mm×奥行2,000mm×高さ1,000mm）、刈払機3台、及び、今後資材が増えることを想定し余裕のあるサイズを以下参考までに提示する。なお、乗用草刈機の重量は約330～345kgを想定。
- ヨコ開き扉タイプのガレージのほうが、シャッター扉タイプに比べ安価であるが、開口幅はやや狭くなる。

メーカー	サイズ	耐重量	本体価格	その他費用	備考	
株式会社淀川製鋼所 ヨド物置	幅2213mm×奥行2564mm×高さ2356mm (開口寸法:幅1939mm×高さ1895cm)	600kgf/m <sup>2</sup>	約28万円	約8万円※1	・シャッター扉 ・配送・設置費・転倒防 止工事※1	
	幅2213mm×奥行2564mm×高さ2216mm (開口寸法:幅1288mm×高さ1914mm)	600kgf/m <sup>2</sup>	約21万円	約4万5千円※1	・ヨコ開き扉 ・配送・設置費・転倒防 止工事※1	
株式会社稲葉製作所 イナバ物置	幅2210mm×奥行2630mm×高さ2375mm (開口寸法:幅2004mm×高さ1886mm)	600kgf/m <sup>2</sup>	約29万円	約10万円※1	・シャッター扉 ・配送・設置費・転倒防 止工事※1	
	幅3050mm×奥行2630mm×高さ2075mm (開口寸法:幅1307mm×高さ1770mm)	600kgf/m <sup>2</sup>	約25万円	約5万5千円 ※1	・ヨコ開き扉 ・配送・設置費・転倒防 止工事※1	
株式会社田窪工業所 タクボ物置	幅2200mm×奥行2622mm×高さ257mm (開口寸法:幅1986mm×高さ:2070mm)	600kgf/m <sup>2</sup>	約28万円	約6万円※1	・シャッター扉 ・配送・設置費・転倒防 止工事※1	
	幅2532mm×奥行2622mm×高さ2100mm (開口寸法:幅1460mm×高さ1850mm)	600kgf/m <sup>2</sup>	約22万円	約5万円※1	・ヨコ開き扉 ・配送・設置費・転倒防 止工事※1	

• 本体価格及びその他費用は全てLIXILオンラインショップを参照

# 中池までの移動ルート



# 8. 調印式・除幕式及び保全管理活動（案）

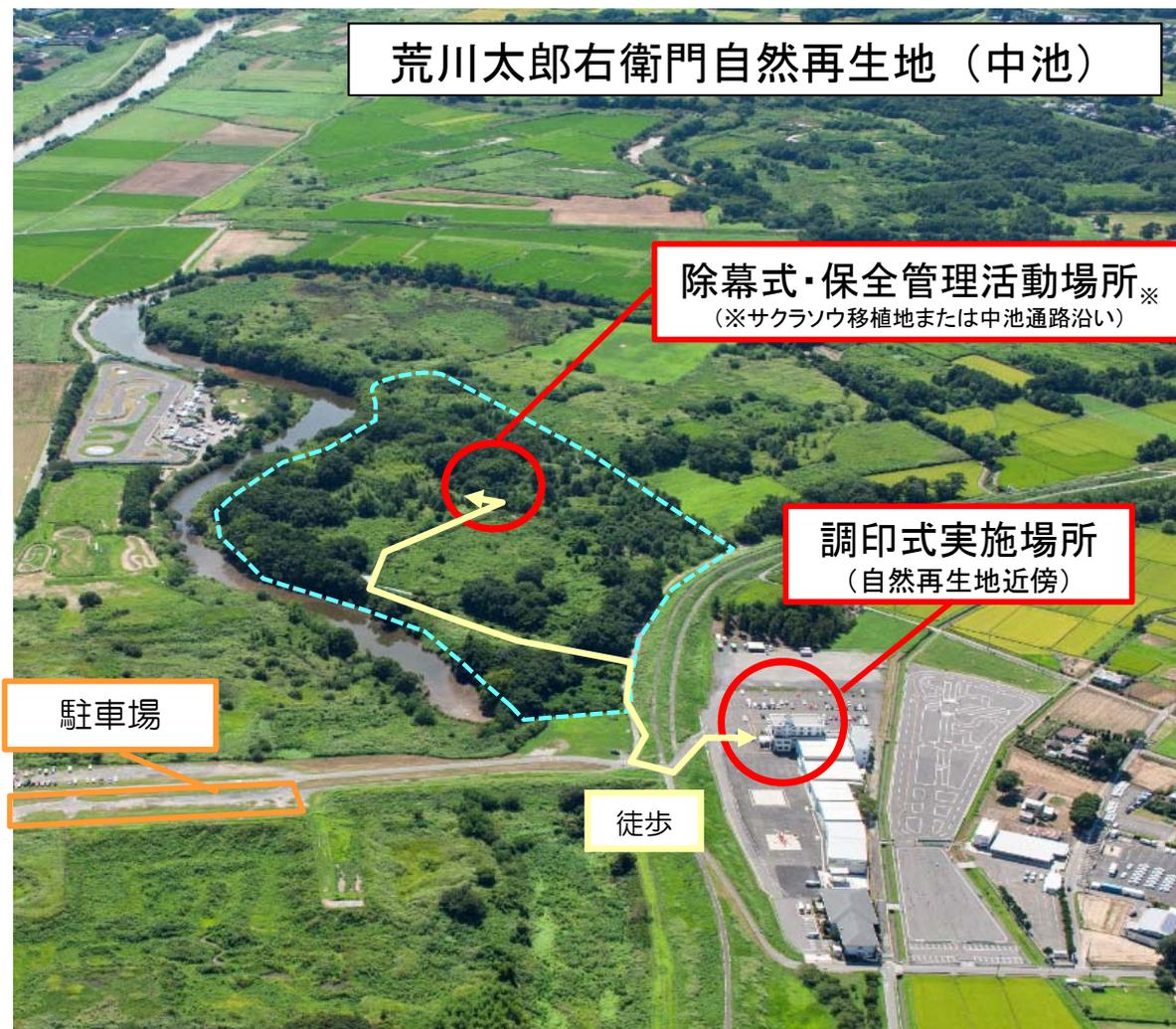
日時 ●月●日（●） 10:00～12:30または13:00～15:30（予定）

集合・準備

時間		内容	担当
8:30	11:30	倉庫から物品搬出 調印式・除幕式準備	事務局
9:30	12:30	集合	委員・事務局 自然再生地近傍に集合

全体プログラム

時間		内容
10:00 (30)	13:00 (30)	<b>■調印式（会場：自然再生地近傍）</b> <b>【挨拶】</b> ・S財団 ・国土交通省荒川上流河川事務所 ・荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 <b>【説明】</b> ・自然再生事業の概要説明 <b>【調印】</b> ・協定の調印
10:30 (20)	13:30 (20)	移動（調印式会場→中池）
10:50 (10)	13:50 (10)	<b>■除幕式（現地）</b>
11:00 (60)	14:00 (60)	<b>■保全管理活動の実施（現地）</b> ・保全管理活動の意義と留意点等 ・外来植物の抜き取り等 ※複数グループに分かれて実施 ※活動場所は直近の状況及び参加人数を見て判断
12:00 (10)	15:00 (10)	<b>■集合撮影</b> <b>■終了挨拶</b> ・S財団 ・荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
12:10 (20)	15:10 (20)	移動（中池→駐車場）・解散



※イベントの実施可否は、新型コロナウイルスの状況を見て、政府や埼玉県の方針、また、S財団の新型コロナウイルス感染症予防対策とも摺り合わせを行い、開催の可否を判断します。開催にあたっては、感染症対策について十分に留意しながら取組めます。

# 8. 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 保有物品リスト

No.	分類	品目	使用可能数	No.	分類	品目	使用可能数
1	—	倉庫	1	28	会場設営関係	アンプ・無線マイクセット	1
2	会場設営関係	ポールスタンド	10	29		ハンズフリー拡声器	3
3		ポール(のぼり用)	16	30		のぼり旗	20
4		横断幕	2	31		ポリタンク(20L、コック無)	8
5		ロープスティック	6	32	ツールバッグ	2	
6		金槌	2	33	鎌(長柄)	1	
7		かけや	1	34	鎌	15	
8		カラーコーン	10	35	鎌用砥石	4	
9		コーンバー	2	36	ノコギリ	16	
10		テント	5	37	ナタ	1	
11		机	8	38	枝切りばさみ	11	
12		ちゃぶ台	4	39	電動式刈払機本体	1	
13		折りたたみ椅子	12	40	燃料携行缶	1	
14		ブルーシート	10	41	スコップ	16	
15		ポリタンク(20L、コック付)	3	42	シャベル	4	
16		脚立(横長)	1	43	リヤカー	2	
17		脚立(縦長)	2	44	キャリーカート	2	
18		木板(A0サイズポスター用)	2	45	エンジン式刈払機	2	
19		生物観察関係	捕虫網(指導者用)	2	46	電動式仮払い機用バッテリー	2
20	虫かご(展示用)		13	47	電動式仮払い機用バッテリー充電器	1	
21	虫かご(携帯用)		48	48	協議会印	1	
22	タモ網		2	49	協議会会長印	1	
23	投網		4	50	腕章	32	
24	ライフジャケット		2	51	クーラーボックス	1	
25	観察用小型水槽		10	52	ポイズンリムーバー	1	
26	プラ舟		4	53	救急セット	2	
27	たらい		1	54	スタンプ	6	